

# 大地に耳をすます 気配と手ざわり

榎本裕一  
川村喜一  
倉科光子  
ふるさかはるか  
ミロコマチコ

2024年7月20日(土)～10月9日(水)

The Whispering Land: Artists in Correspondence with Nature



東京都美術館  
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

主催 = 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館 特別協力 = 株式会社ツガワ 協力 = 合同会社北暦、株式会社ミシマ社、Gallery Camellia、  
青森公立大学 国際芸術センター青森 休室日 = 月曜日、9月17日(火)、9月24日(火) \*ただし、8月12日(月・休)、9月16日(月・祝)、9月23日(月・休)は開室  
開室時間 = 9:30～17:30 金曜日は9:30～20:00 \*入室は閉室の30分前まで 会場 = 東京都美術館 ギャラリーA・B・C



# 大地に耳をすまます

本展では自然に深く関わり制作をつづける現代作家5人をご紹介します。野生動物、山の人々の生業、移りゆく景色や植生、生命の輝きや自然の驚異を捉えた作品は、自然とともに生きるつくり手の瑞々しい歓喜に溢れています。同時に、ときに暴力的に牙をむき、したたかな生存戦略をめぐる自然の諸相を鮮烈に思い起こさせ、都市生活では希薄になりがちな、人の力の及ばない自然への畏怖と敬意が認められます。未開の大自然ではなく自然と人の暮らしが重なる場から生ま

# 気配と手ざわり

れた彼らの作品は、自然と人の関係性を問い直すものでもあります。古来人間は、自然の営みに目を凝らし、耳をすまし、長い年月をかけて共生する術を育んできました。自然に分け入り心動かされ、風土に接し生み出された作品は、人間中心の生活のなかでは聞こえにくくなっていく大地の息づかいを伝えてくれます。かすかな気配も捉える作家たちの鋭敏な感覚をおして触れる自然と人のあり様は、私たちの「生きる感覚」をも呼び覚ましてくれるでしょう。



川村喜一《2018.1121.1043》2018年 写真 作家蔵



榎本裕一《結氷》2024年 ウレタン塗料・インクジェットプリント、アルミパネル 作家蔵



ふるさかはるか《山かけと熾海》木版 藍・土・紙 2023年 作家蔵 撮影：麥生田兵吾 画像提供：Gallery PARC



倉科光子《39°42'03"N 141°58'15"E》2015-21年 透明水彩、紙 作家蔵

## The Whispering Land: Artists in Correspondence with Nature

This exhibition features five contemporary artists (Yuichi Enomoto, Kiichi Kawamura, Mitsuko Kurashina, Haruka Furusaka, and mirocomachiko) who work to reassess and reconnect human beings' relationship with nature.



English

観覧料	一般	大学生・専門学校生	65歳以上	高校生以下
(税込)	1,100円	700円	800円	無料

- \*身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添いの方(1名まで)は無料。いずれも証明できるものをご提示ください
- \*10月1日(火)は「都民の日」により、どなたでも無料。当日は混雑が予想されます
- \*「デ・キリコ展」「田中一村展 奄美の光 魂の絵画」のチケット提示にて、各料金より300円引き

\*関連プログラム等、最新情報は公式サイトをご確認ください

<https://www.tobikan.jp/daichinimimi>



[交通のご案内] ○JR上野駅「公園改札」より徒歩7分 ○東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅「7番出口」より徒歩10分 ○京成電鉄京成上野駅より徒歩10分 \*当館には駐車場はございませんので、車でのご来館の際はご注意ください。

〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36 TEL. 03-3823-6921 <https://www.tobikan.jp>

表面：ミロコマチコ《2匹の声》(部分) 2022年 アクリル、木製パネル 作家蔵 Photo: Yuichiro Tamura

